



〈目指す児童像〉

正しく判断し、自ら動き出す子
一生懸命取り組む子
仲間と心合わせて活動する子

みどいおか

水戸市立緑岡小学校
学校だより
令和7年度 第11号
R8. 2. 27



授業参観ありがとうございました



お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、授業参観および保護者会を終えることができました。各学年とも1年間の学習を振り返り、成長が見られた学習発表でした。お家の方々に発表を見ていただくという目標もあって、練習にも熱が入っていました。体育の時間に身に付けたマット運動の技を披露したり、総合的な学習の時間に調べたことを発表したり、1年間の思い出を寸劇で表現したりと各クラスで様々な発表がありました。お家の方々が見ていることで緊張も見られましたが、一人一人が精一杯取り組む姿を見ていただけたことと思います。保護者の皆様の温かい拍手やまなざしが子どもたちにとって何よりの励みになりました。

この1年間、子どもたちは様々な経験を重ねながら一步一步成長してきました。できなかったことができるようになった喜び、仲間と支え合うことの大切さを味わいながら大きくなりました。最後までしっかりと向き合って、全教職員で支えてまいります。引き続き、教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

メディア教育講演会を行いました

先日、4・5・6年生を対象にメディア教育支援員さんをお招きして、メディアとの向き合い方についてのお話をいただきました。インターネットを使うために必要な力（判断力、自制力、責任力）やトラブルに巻き込まれないために必要なことなどについて聞くことで、改めて、スマートフォンやタブレット端末の使い方について考える機会となりました。子どもたちがインターネットに触れる機会はこれからますます増えていくものと思われます。便利な一方、使い方を誤るとトラブルや危険につながる可能性があります。特に心配されるのは、SNSでの言葉の行き違いや誹謗中傷、個人情報の安易な公開、長時間使用による生活の乱れなどです。インターネット上に投稿した内容は、完全に消すことは難しく、広く拡散されてしまうこともあります。学校では情報モラル教育を通して、メディアとの向き合い方を指導してまいります。子どもたちを守るためには、スマートフォンなどを与えているご家庭の見守りや声掛けが何よりも重要です。

〈次のことをしてみましょう！〉

- 使用時間やルールを家庭で話し合って決める
- 困ったことがあれば相談できる関係をつくる
- フィルタリングやペアレンタルコントロールを活用する
- 保護者も子どもが使っているアプリや機能を把握する

※2/17にテトルで「こども家庭庁作成のリーフレット」を配信しております。

そちらも参考になさってください。



なぜ勉強するのでしょうか？



「なぜ勉強するの？」「将来のために勉強することが必要？」「将来何になりたいかなんてわからないです。」と話していた子どもたちに、「なぜみんなは勉強しなければならないのか？」というのを伝えようと次のような話をしたことがあります。

まだ、将来何になりたいかなんて決まっていなくてもいいかもしれません。それもいいと思います。今は、様々なことに興味をもち、なぜだろうと疑問に思ったり、多くのことに触れ新たな知識を身に付けたり、人とたくさん話して考えを深めたりすることが大切です。頭には畑や花壇があると思ってください。今は、その畑や花壇を耕す時期です。勉強することによって、知識が身に付いたり、考え方が身に付いたり・・・それは、畑に水や肥料をあげている状態です。畑や花壇の土が栄養いっぱいになるのです。今は、なりたい職業などは見つからないかもしれませんが、いつ見つかるかわかりません。なりたいものの種（将来の夢）が見つかって、いざ畑や花壇にまこうとした時に畑や花壇の土が固くて水分や栄養がなかったら、種はうまく育たないと思います。いつか、まきたい種が見つかったときのために、今から畑や花壇（脳）を耕しておくことが大切なのではないでしょうか・・・。

花を咲かせるための準備の時期がとっても大切だと思います。この時期をご家庭と学校が両輪となって、子どもたちを支えていきましょう。